

第2期呉市子ども・子育て支援事業計画策定のためのニーズ調査の結果報告

1 調査概要

(1) 目的

この調査は、本市における子ども、子育て家庭の状況及び子ども・子育て支援給付や地域子ども・子育て支援事業等の需要を的確に捉え、「第2期呉市子ども・子育て支援事業計画」に反映させるための基礎資料となるものです。

この計画は、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）第61条に規定する「市町村子ども・子育て支援事業計画」に位置付けられるものであるとともに、次世代育成支援対策推進法（平成15年法律第120号）第8条に規定する、市町村行動計画として策定する「次世代育成支援行動計画」と一体的なものであり、次世代育成支援行動計画に記載する項目も含め、子育て世代の多様なニーズに対応するための施策を幅広く記載していくものです。

第2期計画は、令和2年度から令和6年度までの5年間の計画期間とし、今年度策定の予定です。

(2) 調査対象、調査方法等

| | |
|------|--------------------------------------|
| 調査対象 | 未就学児童（0歳から5歳児）が属する市内の世帯 |
| 調査世帯 | 3,000世帯 |
| 回収世帯 | 1,314世帯 |
| 回収率 | 43.8パーセント |
| 抽出方法 | 層化二段無作為抽出法（17支所の所管区域及び中央の18区域ごとの人口比） |
| 調査方法 | 郵送による配付・回収 |
| 調査期間 | 平成30年12月26日（水）から平成31年1月14日（月）まで |

(3) 主な質問項目

国が指定する、教育・保育事業及び地域子ども・子育て支援事業（13事業）の量（需要）の見込みと確保方策（供給）を算出するために必要な項目と、市が独自に設定した項目で構成しています。市の独自項目では、未就学児を育てている家庭の詳しい実態や意識等について調査をし、5年前に行った前回調査時点との比較を行っています。

【国が指定する項目】

保護者の就労状況、定期的にご利用したい教育・保育事業、実施サービスの認知・利用状況・利用意向、病児・病後時保育施設等の利用状況等、放課後どの場所で過ごさせたいか、育児休業制度の利用状況等 など

【市の独自項目】

幼児教育・保育の無償化実現の場合に定期的にご利用したい教育・保育事業、子育て中のストレス、子育てに関する情報の入手方法、父親の家事・育児の関わり、定期的な教育・保育事業への満足度、子育て環境や支援への満足度 など

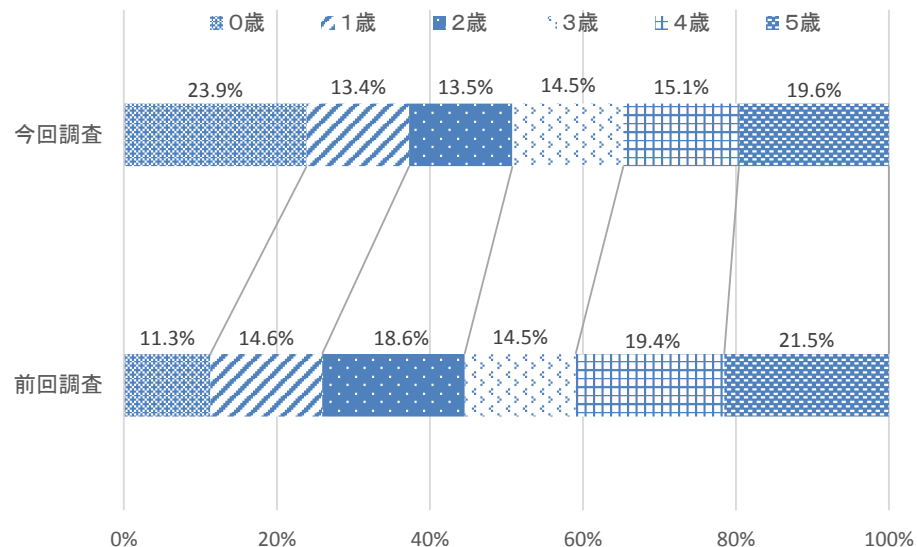
(4) 回答者の属性

①回答者の居住地区

| 地 区 | 今回調査 | 前回調査 |
|------------|--------|--------|
| 中央・宮原・警固屋 | 31.4% | 32.9% |
| 天応・吉浦 | 6.0% | 5.5% |
| 阿賀・広・仁方・郷原 | 33.3% | 39.7% |
| 昭和 | 13.6% | 10.4% |
| 安芸灘 | 1.3% | 1.2% |
| 川尻・安浦 | 7.9% | 6.2% |
| 音戸・倉橋 | 6.3% | 3.9% |
| 合 計 | 100.0% | 100.0% |

※小数第2位を四捨五入しているため合計値が100%になりません。

②子どもの年齢



(5) 計画策定との関係

計画策定作業のうち、教育・保育事業及び地域子ども・子育て支援事業（13事業）の量の見込みと確保方策については、法令に定められた手法により、算出することとなっています。

しかし、アンケートに回答した世帯の子どもの年齢に、偏りがあることが分かりました。

これからの策定作業では、より現実的な算出結果を得るため、データの偏りを補正するためのウェイト調整を行います。

今回の報告では、国が指定する項目のうち、ウェイト調整を必要とする項目については、現時点で分析や課題抽出についての説明は省略します。

それ以外の項目及び市独自に設定した項目の主なものについて、以下のとおり報告します。

2 アンケート結果及び課題

(1) 幼児教育や保育の無償化

①無償化が実現した場合、定期的に利用したいと思う事業について (問19)

◇幼稚園(通常就園時間の利用)

| 項目 | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 合計 |
|---------|----|----|----|-----|-----|-----|-----|
| 現制度での希望 | 0 | 2 | 12 | 116 | 164 | 225 | 519 |
| 無償化時の希望 | 8 | 4 | 15 | 93 | 119 | 163 | 402 |

◇幼稚園(通常就園時間の利用) + 幼稚園の預かり保育(通常就園時間を延長して預かる事業のうち、定期的な利用のみ)

| 項目 | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 合計 |
|---------|----|----|----|-----|-----|-----|-----|
| 現制度での希望 | 1 | 3 | 15 | 131 | 187 | 249 | 586 |
| 無償化時の希望 | 4 | 4 | 15 | 138 | 196 | 268 | 625 |

◇認可保育所(一定の基準に適合した施設で呉市の認可を受けた定員20人以上の施設)

| 項目 | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 合計 |
|---------|----|----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 現制度での希望 | 22 | 82 | 149 | 199 | 244 | 325 | 1,021 |
| 無償化時の希望 | 28 | 83 | 155 | 213 | 262 | 349 | 1,090 |

◇認定こども園(幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設)

| 項目 | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 合計 |
|---------|----|----|----|-----|-----|-----|-----|
| 現制度での希望 | 7 | 39 | 74 | 135 | 173 | 224 | 652 |
| 無償化時の希望 | 14 | 42 | 77 | 144 | 189 | 250 | 716 |

◇利用する必要はない

| 項目 | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 合計 |
|---------|----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 現制度での希望 | 91 | 113 | 165 | 35 | 6 | 8 | 418 |
| 無償化時の希望 | 90 | 104 | 151 | 27 | 5 | 10 | 387 |

まとめ

- ・無償化により、通常の幼稚園利用が減少する代わりに、幼稚園と預かり保育の組合せや、認可保育所、認定こども園の利用希望が増加している。
- ・「利用する必要はない」と回答した人にあまり変化が見られない。

今後の課題

- ・今後、教育・保育の量の見込みを算定する際に、算出結果とこの回答から得られた傾向を踏まえながら、確保方を検討していく。

(2) 地域の子育て支援事業の利用状況

①事業の認知度及び利用状況等について (問22)

| 項 目 | 知っている | | 利用したことがある | | 今後利用したい | |
|--|-------|-------|-----------|-------|---------|-------|
| | 今 回 | 前 回 | 今 回 | 前 回 | 今 回 | 前 回 |
| 1. 保健センター等で実施している育児教室・育児相談 | 93.1% | 92.5% | 51.3% | 46.3% | 54.0% | 55.2% |
| 2. 保健センターの情報・相談事業 | 79.9% | 80.4% | 26.3% | 28.7% | 45.7% | 49.9% |
| 3. 子育て支援センター (子育てに関する相談, 子育て情報の提供) | 93.7% | 82.6% | 50.7% | 33.1% | 56.0% | 45.3% |
| 4. 子育てサロン・子育てサークル等の交流事業 | 76.1% | 62.6% | 28.5% | 16.8% | 36.7% | 28.8% |
| 5. 婦人相談・家庭児童相談・児童療育相談 (離婚, いじめ, DV, 子どもの発達など) | 76.9% | 68.1% | 7.0% | 4.5% | 28.3% | 22.5% |
| 6. ショートステイ, トワイライトステイ (児童養護施設等で休日, 夜間, 子どもを預れる事業) | 32.7% | 18.9% | 1.0% | 0.5% | 17.3% | 10.8% |
| 7. 病児・病後児保育事業 | 67.2% | 46.1% | 12.2% | 6.1% | 47.5% | 35.4% |
| 8. くれ子育てねっと・くれパステル (子育てに関する情報発信ウェブサイト) | 63.7% | 79.5% | 30.7% | 41.5% | 49.7% | 63.3% |

は前回より増加したものと黄色で示している。

まとめ

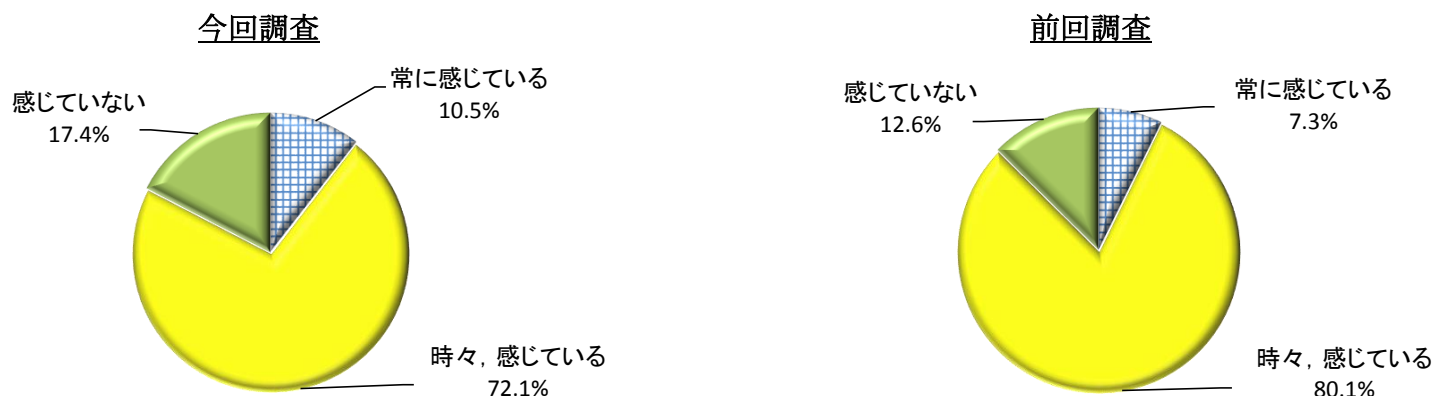
- ・全体的には、「知っている（認知度）」、「利用している（利用実績）」、「今後利用したい（利用希望）」のいずれも前回調査を上回っている。
- ・保健センターの情報・相談事業, くれ子育てネット・くれパステルについては, 前回調査を下回っている。

今後の課題

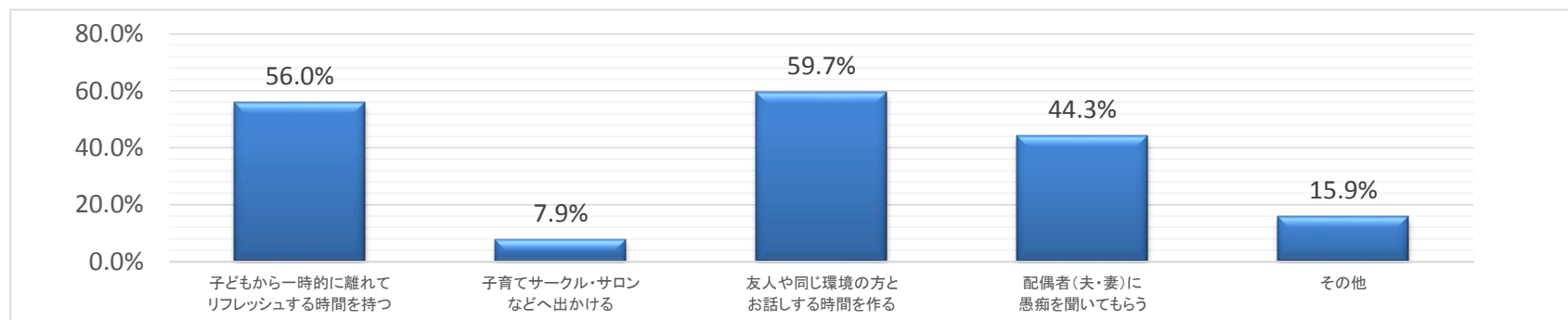
- ・必要なときに気軽に利用できるようにするため, 更に利用者の立場に立った情報提供が必要である。
- ・今年度導入する子育てアプリの活用を含めた, 効果的な情報発信について検討する。

(3) 子育てとストレス

①子育て中のストレスについて (問23)



②ストレスの解消法について (問23-2)



まとめ

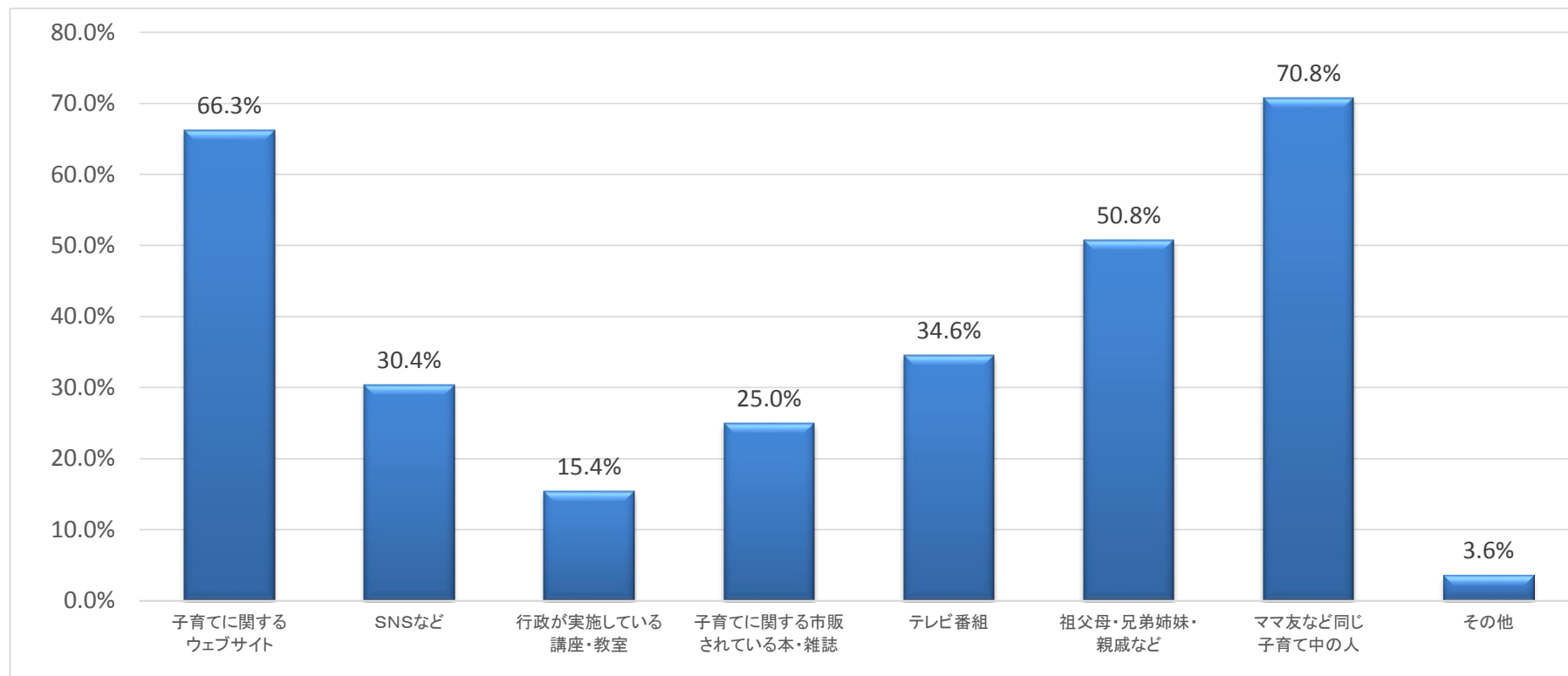
- ・前回と比べて子育てにストレスを「常に感じている」割合は増加しているが、一方でストレスを「感じていない」割合も増えている。
- ・ストレスの解消法は、「友人や同じ環境の方とお話する時間を作る」、「子どもから一時的に離れてリフレッシュする時間を持つ」の順になっている。

今後の課題

- ・子育て中にリフレッシュする時間を持つため、同じ境遇のママ友などとコミュニケーションを取るきっかけづくりや場所の工夫、一時的に子どもを預けられる場所の情報提供や躊躇なく利用できるようなするためのPR方法の検討が必要である。

(4) 子育ての情報源

①子育てに関する情報の入手法について (問24)



まとめ

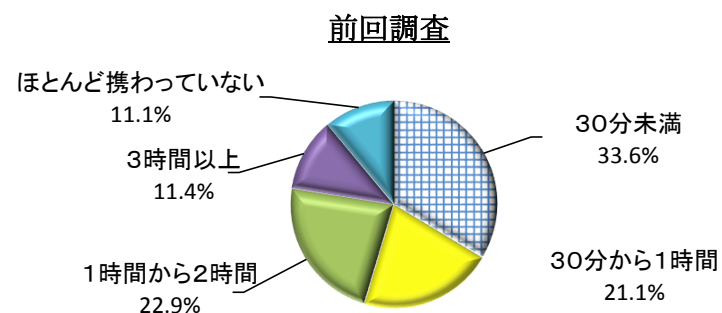
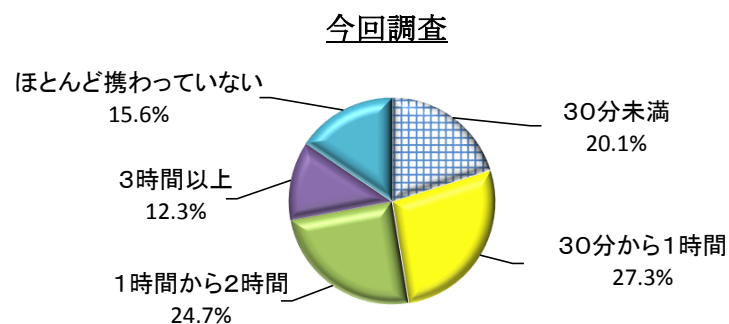
- ・子育て情報を入手する手段としては、ママ友など同じ子育て中の人「70.8%」と最も多く、子育てに関するウェブサイト「66.3%」で2番目となっている。

今後の課題

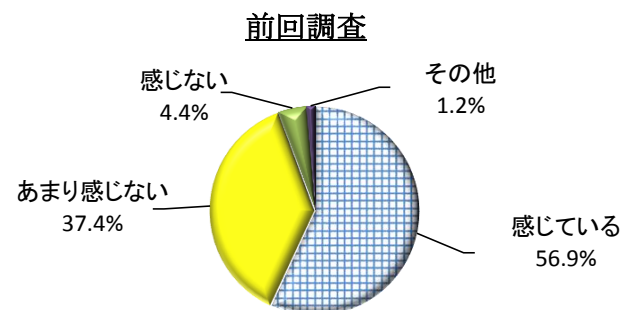
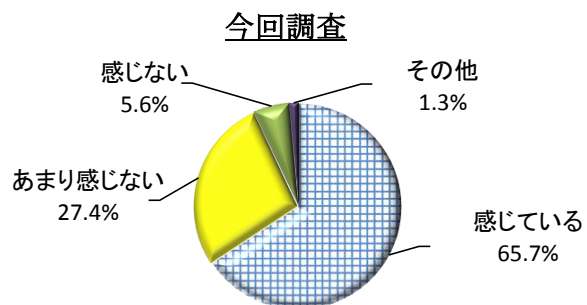
- ・子育ての悩みや不安等を共有できる出会いの場を設けるとともに、既存のウェブサイトである「くれ子育てねっと」の活用の促進を図るための広報や、新たな情報提供の手段であるアプリの効果的な活用方法などを検討する必要がある。

(5) 男性の育児とパートナーシップ

①父親の平日における家事・育児に関わる時間について（1日当たり）（問25）



②子育てに関して、夫婦で分かち合っている実感について（問26）



まとめ

- 父親が平日に家事・育児に関わる時間について、1日当たり「30分未満」と答えた割合が、「33.6%」から「20.1%」へと13.5ポイント減少している。一方で、「30分から1時間」と答えた人は、「21.1%」から「27.3%」へと6.2ポイント増加しており、全体的に5年前より子どもに関わる時間は伸びてきている。その反面、ほとんど携わっていない割合が、「11.1%」から「15.6%」へとやや増加している。
- 子育てに関して、夫婦で分かち合っている実感について、感じているが「56.9%」から「65.7%」へと、8.8ポイント増加している。

今後の課題

- 男性の就労環境と男性の育児に関わる時間の変化や夫婦間のパートナーシップの構築についての相関関係を分析し、男性の家事・育児に関わる時間を増やすためにはどのようにすればよいか、今後の働き掛けの方法を検討する必要がある。

(6) 小学校就学後の放課後の過ごし方

①放課後の過ごし方について (問35・問36) ※子どもが小学生となった際の利用希望

| 項 目 | 低学年(1～3年生) | | 高学年(4～6年生) | |
|-----------------------------|------------|-------|------------|-------|
| | 今 回 | 前 回 | 今 回 | 前 回 |
| 1. 自宅 | 53.6% | 42.6% | 77.0% | 70.3% |
| 2. 祖父母や知人・友人宅 | 15.9% | 14.8% | 17.2% | 37.7% |
| 3. 習い事(ピアノ, サッカークラブ, 学習塾など) | 41.8% | 34.2% | 53.1% | 56.0% |
| 4. 児童館 | 10.0% | 7.1% | 6.2% | 4.7% |
| 5. 放課後児童会 | 48.2% | 58.1% | 24.4% | 35.7% |
| 6. ファミリー・サポート・センター | 1.8% | 0.0% | 1.4% | 0.7% |
| 7. その他 | 3.2% | 1.9% | 1.9% | 2.3% |

 は前回より増加したものの

まとめ

- ・低学年, 高学年とも放課後児童会を利用したいという希望がやや減少し, 自宅や習い事など他の居場所を選択する人が若干増えている。

今後の課題

- ・民間事業者や団体等による新たな子どもの居場所づくりなど, 放課後の過ごし方の選択肢を広げる必要がある。

(7) 子育て支援の満足度

①お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について (問39)

| 項目 | 今回 | 前回 |
|-----------------|-------|-------|
| とても満足している (5点) | 5.5% | 5.1% |
| まあまあ満足している (4点) | 25.9% | 16.5% |
| ふつう (3点) | 48.8% | 57.5% |
| あまり満足していない (2点) | 16.2% | 14.0% |
| 不満である (1点) | 3.5% | 6.9% |

は前回より増加したもの

| | | |
|-----|-------|-------|
| 平均点 | 3.14点 | 2.98点 |
|-----|-------|-------|

②教育、保育事業への満足度について (問17-4)

| 項目 | 今回 |
|-----------------|-------|
| とても満足している (5点) | 42.9% |
| まあまあ満足している (4点) | 39.6% |
| ふつう (3点) | 14.0% |
| あまり満足していない (2点) | 3.2% |
| 不満である (1点) | 0.3% |

| | |
|-----|-------|
| 平均点 | 4.21点 |
|-----|-------|

まとめ

- ・地域における子育ての環境や支援については、「とても満足している」と「まあまあ満足している」を合わせた値が前回「21.6%」から「31.4%」へと、9.8ポイント増えている。
- ・前回のアンケートより満足度の平均点が「0.16点」上昇している。
- ・教育、保育事業への満足度については、「とても満足している」が「42.9%」、「まあまあ満足している」が「39.6%」と値が高い。

今後の課題

- ・居住している地域における子育ての環境や支援への満足度については、「満足していない」と回答した割合は前回とほぼ変わらないため、更に分析を行い、改善すべき点を明らかにしていく必要がある。
- ・また、満足度を上げるためには、「ふつう」と感じている人を「満足」に近づけるための工夫が必要と考えられる。
- ・教育、保育事業への満足度については全体的に高い評価となっているが、引き続き、子育て世帯の多様なニーズに対応し、利用者の意見を反映した施策に取り組んでいく。

(8) スケジュール

| | 平成30年度 | | | | | | 令和元年度 | | | | | | | | | | | | |
|------|--------|----------------|-----|----|----|----|-------|----|----------------------|----|--------------------|----|-----|-----|----------------------|----|----|----------------|--------------------|
| | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 作業工程 | | ● 保健福祉審議会諮問 | | | | | | | ● 行政報告 ニーズ調査結果 | | ● 行政報告 計画案骨子 | | | | ● 行政報告 パブコメの実施 | | | ● 保健福祉審議会答申 | ● 行政報告 計画(案) |
| | | | | | | | | | | | | | | | ↔ パブリックコメント | | | | |